

糸満市の財務諸表を公表します

はじめに

糸満市では、平成19年10月に総務省から公表された「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づき、総務省方式改訂モデルの財務諸表を作成しています。今回は作成した財務諸表のうち、糸満市の普通会計の財務諸表を公表します。

※普通会計とは、自治体間の比較のために用いられる会計区分です。

財務諸表とは



以下の財務4表のことをいいます。

【財務4表】

貸借対照表（バランスシート）：糸満市が所有する資産や負債の状況を表します

行政コスト計算書：人件費や減価償却費を含めた事業のコストを表します

純資産変動計算書：一年間の純資産の増減を表します

資金収支計算書：一年間の資金の増減を表します

【作成に用いる基礎データ】

糸満市では総務省方式改訂モデルを採用しております。当モデルでは、地方財政状況調査表（決算統計）のデータを基礎数値として使用しています。

財務諸表の関連性

財務4表はそれぞれ関連性をもっています。

【貸借対照表】

資産	負債
歳計現金	純資産

【行政コスト計算書】

経常行政コスト 経常収益 純経常行政コスト
--

【資金収支計算書】

収入 支出 歳計現金増減額 + 期首歳計現金残高 期末歳計現金残高

【純資産変動計算書】

期首純資産残高 純経常行政コスト 期末純資産残高



次のページからは、
糸満市の財務諸表を
見ていくよ。

糸満市の貸借対照表(バランスシート)

～糸満市の財産や借金はどれくらいあるのかな～

貸借対照表（バランスシート）は、会計年度末に糸満市が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、市の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

単位：(千円)

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
公共資産	219,786,063	固定負債	20,926,473
		地方債	18,315,371
		退職手当引当金	2,611,102
		その他	0
投資等	2,810,285	流動負債	2,077,191
投資及び出資金	386,083	翌年度償還予定地方債	1,915,673
基金等	2,134,879	賞与引当金	161,518
その他	289,323	その他	0
流動資産	1,542,967	負債合計	23,003,664
現金・預金	1,344,100		
(うち歳計現金)	370,166		
未収金	198,867		
		【純資産の部】	
		純資産合計	201,135,651
資産 合計	224,139,315	負債+純資産 合計	224,139,315

用語の説明

【資産の部】

公共資産・・・道路や学校など市が所有する公共施設の総額

投資等・・・使途の特定された基金や、外部団体への出資金などの総額

流動資産・・・現金・預金などの総額

【負債の部】

地方債残高などの市の将来負担の総額

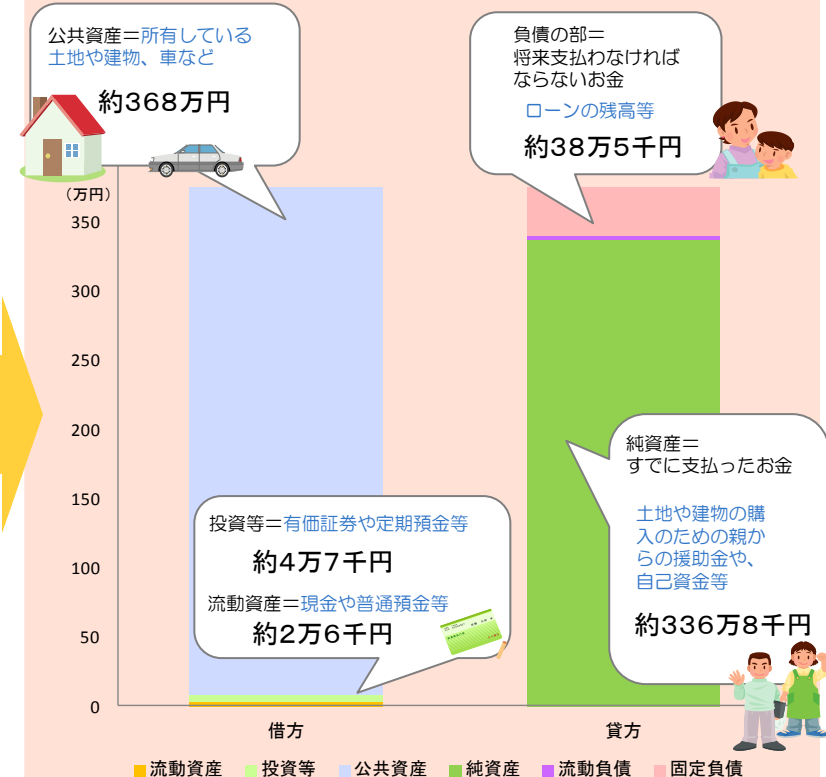
【純資産の部】

資産から負債を差し引いた金額

住民1人あたりの貸借対照表

～糸満市の財産と借金のバランスは？～

貸借対照表（バランスシート）を、住民1人あたりに換算しました。



平成27年3月31日時点の人口：59,723人で計算

平成26年度末時点で糸満市は、住民1人あたり約375万3千円の資産があり、そのうち約368万円が土地や建物（公共資産）でした。一方で、ローンなどの将来支払わなければならないお金の残高は住民1人あたり、約38万5千円あることがわかりました。

行政コスト計算書 ～公共サービスにかかるコストは？～

公共サービスを提供する際に発生した支出と、それらの対価として得られた収入を計上しています。

単位：(千円)

区分	金額
経常行政コスト	24,082,019
人にかかるコスト	3,138,779
物にかかるコスト	7,864,572
移転支出的なコスト	12,755,801
その他のコスト	322,867
経常収益	563,510
使用料・手数料	259,147
分担金・負担金・寄附金	304,363
純経常行政コスト	23,518,509

【経常費用】

人にかかるコスト・・・職員給与のほか、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額など

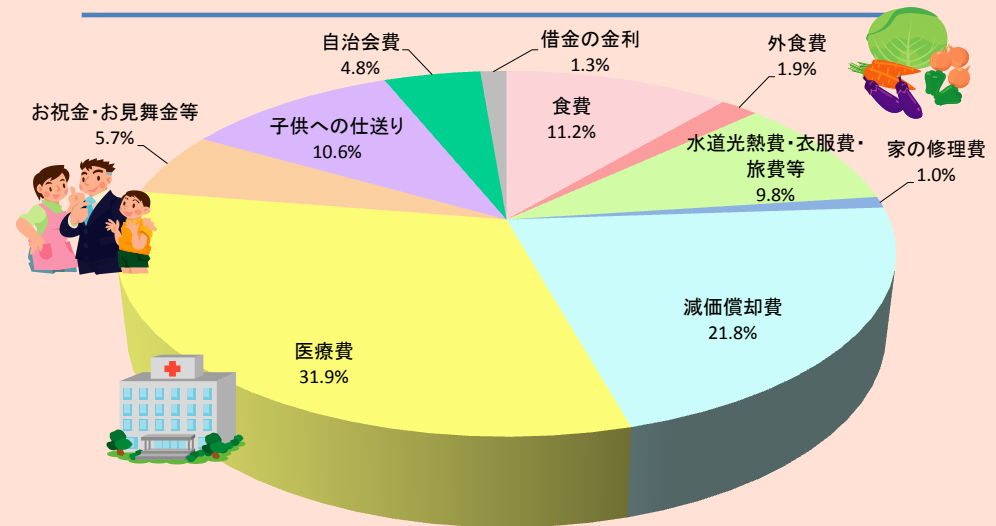
物にかかるコスト・・・委託料や消耗品の購入、維持補修費、資産から生じる減価償却費など

移転支出的なコスト・・・社会保障給付や国民健康保険事業への繰出金など
その他・・・支払利息など

【経常収益】

公共サービスの直接の対価である収入(税収などは含まれません)

1年間の行政コストを年収200万の家計に換算

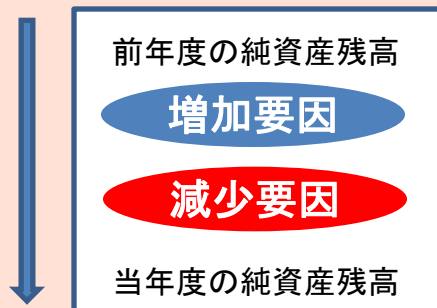


家計の支出項目	家計の出費額 (千円)	財務諸表項目	構成 比率
食費	223	人件費	11.2%
外食費	37	退職手当引当金繰入・賞与引当金繰入	1.9%
水道光熱費・衣服費・旅費等	196	物件費	9.8%
家の修理費	20	維持補修費	1.0%
減価償却費	437	減価償却費	21.8%
医療費	638	社会保障給付	31.9%
お祝金・お見舞金等	114	補助金等	5.7%
子供への仕送り	212	他会計等への支出額	10.6%
自治会費	96	他団体への公共資産整備補助金	4.8%
借金の金利	26	支払利息	1.3%
雑費	1	その他行政コスト	0.0%

平成26年度決算では、医療費（31.9%）の割合が最も大きい結果となりました。医療費（社会保障給付費）の割合が大きいことから、糸満市は福祉や生活保護にかかる行政サービスに力を注いでいることが分かります。

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。



単位：(千円)

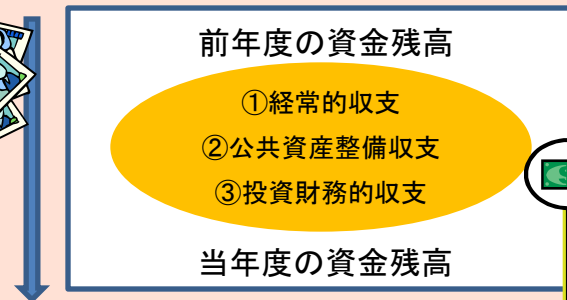
前年度末の残高	203,702,979
純経常行政コスト	△ 23,518,509
経常的な収入	20,988,268
臨時損益	△ 61,189
その他	24,102
当年度末の残高	201,135,651

平成26年度決算では、前年度に比べ、純資産が減少しました。これは税収や補助金などの純資産を増加させる要因（収入）より、行政コストなどの純資産を減少させる要因（支出）の方が上回っていたことを示しています。



資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかが分かります。



単位：(千円)

前年度末の残高	563,469
経常的収支	2,702,879
公共資産整備収支	△ 501,203
投資・財務的収支	△ 2,394,979
当年度の資金変動額	△ 193,303
当年度末の残高	370,166

経常的収支

行政サービスの提供に必要となる人件費や物件費などの支出と、税収などによる収入が計上されます。

公共資産整備収支

道路や公共施設の取得のために支出した金額と、その財源として集めた地方債や国・県からの補助金が計上されています。

投資・財務的収支

支出には基金への積立額や地方債の償還額が、収入には新たに発行した地方債の収入や貸付金の回収額等が計上されます。